

家庭 (家庭総合)

発 行 者	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
番号 名 称 略 称				
2 東京書籍 東書	家総 002-901	A B	294	令和 7 年
6 教育図書 教図	家総 006-901 ◆	A B	282	令和 7 年
7 実教出版 実教	家総 007-901 ◆	A B	290	令和 7 年
9 開隆堂出版 開隆堂	家総 009-901	A B	258	令和 7 年
50 大修館書店 大修館	家総 050-901	A 4	290	令和 7 年
183 第一学習社 第一	家総 183-901	A B	264	令和 7 年
183 第一学習社 第一	家総 706	A B	268	令和 3 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

家庭総合		冊 数	7 冊
発行者の略称・教科書の番号	東書002-901 教図006-901 実教007-901 開隆堂009-901 大修館050-901 第一183-901 第一706		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【家庭の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭総合の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

【家庭総合の内容及び内容の取扱い】

「内 容」の 概 要	「内容の取扱い」抜粋
A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・家庭及び社会 (3) 子供との関わりと保育・福祉 (4) 高齢者との関わりと福祉 (5) 共生社会と福祉 B 衣食住の生活の科学と文化 (1) 食生活の科学と文化 (2) 衣生活の科学と文化 (3) 住生活の科学と文化	ア 内容AからCまでについては、生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見いだしその課題を解決する過程を重視すること。また、現在を起点に将来を見通したり、自己や家族を起点に地域や社会へ視野を広げたりして、生活を時間的・空間的な視点から捉えることができるように指導を工夫すること。 イ 内容のAの(1)については、人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴や課題と関連を図ることができるよう、この科目の学習の導入として扱うこと。また、AからCまでの内容と関連付けるとともにこの科目のまとめとしても扱うこと。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ウ 内容のAの(3)については、学校や地域の実態等に応じて、学校家庭クラブ活動などとの関連を図り、幼稚園、保育所及び認定こども園などの乳幼児、近隣の小学校の低学年の児童との触れ合いや交流の機会をもつよう努めること。また、(4)については、学校家庭クラブ活動などとの関連を図り、福祉施設などの見学やボランティア活動への参加をはじめ、身近な高齢者との交流の機会をもつよう努めること。(5)については、自助、共助及び公助の重要性について理解を深めることができるよう指導を工夫すること。 エ 内容のBについては、実験・実習を中心とした指導を行うこと。なお、(1)については、栄養、食品、調理及び食品衛生との関連を図って指導すること。また、調理実習については食物アレルギーにも配慮すること。 オ 内容のCの指導に当たっては、A及びBの内容と相互に関連を図ることができるよう工夫すること。(2)については、消費生活に関する演習を取り入れるなど、理解を深めることができるよう努めること。 カ 内容のDの指導に当たっては、AからCまでの学習の発展として実践的な活動を家庭や地域などで行うこと。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第9節第3款1(1)
b 実践的・体験的な学習活動	学習指導要領第2章第9節第1款、第3款1(2)
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項のa、b及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各単元において、資質・能力の育成に関わる内容を見取る
- b 実践的・体験的な学習活動
 - ・ 各単元において、実践的・体験的な学習活動に関わる内容を見取る

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の中で、「単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成」について言及されているため、家庭総合では、各単元において、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善して、新たな課題の解決に向かう過程を重視した学習について、どのように扱われているかという視点で質的に調査する。
- b 実践的・体験的な学習活動
 - ・ 学習指導要領に、「各科目に配当する総授業時数のうち、原則として10分の5以上を実験・実習に配当すること」とあることから、各単元において、実験・実習の題材について、どのように扱われているかという視点で質的に調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	東書
教科書番号	家総002-901
教科書名	家庭総合 自立・共生・創造

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」	
【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・生涯の生活設計の節で、ライフプランを立てるワークが設けられており、今後獲得できる生活資源を考えながら検討できる。また、消費行動と意思決定の節や共生社会と福祉の節の学習と関連付けながら生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。 ・子供との関わりと保育・福祉の節で、子供との触れ合いや子育てに関わる人へのインタビューを実践するワークが設けられており、特に、子供の発達についての理解や触れ合いを通じた課題把握を通して今後の生活や地域の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・住生活の科学と文化の節で、被災地に支援物資を送るワークが設けられており、特に、食生活、衣生活、住生活の視点からの課題把握を通して、災害時にどのようなものが必要か課題解決する力が養われるよう工夫されている。また、平面図を使って考えるワークが設けられており、特に、間取りや家族構成、費用についての課題把握を通して、現在や将来の住まいを住みやすく改善したり、よりよい選択をできる力が養われるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、家具を比較・検討するワークが設けられており、特に、費用面、転用面、環境への配慮についての比較・検討を通して主体的な意思決定や、情報を正しく見極める力が養われるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、全国大会受賞作品の詳細資料を取り上げている。具体的に示された学習の進め方の解説や、各章末に設けられた「テーマが探せるチャート式」の活用を通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。
b 実践的・体験的な学習活動	
【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・子供との関わりと保育・福祉の節で、子育てと仕事の両立について考えるワークが設けられており、夫婦それぞれの立場での課題解決策の検討をロールプレイを行うことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。 ・共生社会と福祉の節で、地域の防災意識を高めるためのワークが設けられており、特に、自助・共助・公助のポイントを踏まえたうえで、どのようなことができるか考え、共有を行うことで実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・住生活の科学と文化の節で、バリアフリーについて検討するワークが設けられており、特に、ライフステージに応じた住まい方への理解や、現在の住まいの課題解決を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。 ・食生活の科学と文化の節で、自分の生活にあった食事方法について検討するワークが設けられており、栄養、食事の役割、費用について理解を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、悪質商法への対策を考えるワークが設けられており、なぜ被害に合うのか具体的に検討し、どのように行動すればよいのかについて考える実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。 ・持続可能な消費生活・環境の節で、持続可能な社会の構築するためにできることを考えるワークが設けられており、「ゼロカーボンアクション30」を参考に具体的な課題解決策を考えることで、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・具体的に示された学習の進め方の解説や、各章末に設けられた「テーマが探せるチャート式」の活用を通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。

《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・衣食住の生活の科学と文化 「食生活の文化と知恵」 「衣生活の文化と知恵」 「住生活の文化と知恵」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「ドメスティック・バイオレンス」 「L G B TとS O G I」 「児童虐待と社会的孤立」 「多様性の尊重される社会」
安全・防災や自然災害の扱い	・衣食住の生活の科学と文化 「地域の防災意識を高めよう」 「住居の防災」 「見直そう我が家の災害対策」 「衣食住とライフステージの関わりを考えよう」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「見直される性別役割分業意識」 「男女共同参画社会の実現」
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・動画やシミュレーション、ウェブサイト等へのリンクなど、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	教図
教科書番号	家総006-901◆
教科書名	ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・生涯の生活設計の節で、ライフプランを立てるワークが設けられており、特に、人生で起こりうるリスクと解消のために利用できる生活資源を考えながら生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。 ・青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、職業・家庭・個人の生活を両立するためのワークが設けられており、特に、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題把握を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・食生活の科学と文化の節で、食品ロスを減らすためのワークが設けられており、特に、「食べ残し」「直接廃棄」「過剰除去」の三つの課題把握を通して食品ロスを解決する力が養われるよう工夫されている。 ・住生活の科学と文化の節で、居心地のよい住まいを考えるワークが設けられており、特に、間取りや居心地を左右する条件についての課題把握を通して、現在や将来の住まいの居心地をよりよくする力が養われるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、賢い消費者になるためのワークが設けられており、特に、商品購入に至る優先順位や、商品の比較検討を通して主体的な意思決定や、情報を正しく見極める力が養われるよう工夫されている。 ・持続可能なライフスタイルと環境の節で、環境問題の解決のために行動するためのワークが設けられている。地球規模での課題把握を通して、消費者として、地域のひとりとしてどのように行動するか考え、共有することで、課題を解決する力が養われるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で全国大会受賞作品の詳細資料を取り上げている。具体的に示された学習の進め方の解説を通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。

b 実践的・体験的な学習活動

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・子供との関わりと保育・福祉の節で、子供のイヤイヤにどう接するか考えるワークが設けられており、子供の発達を理解や親の気持ちの理解を通してロールプレイを行うことで実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。 ・高齢期との関わりと福祉の節で、介護される人の気持ちを考えるワークが設けられており、特に、認知症の方と接するときのポイントを踏まえた上で、認知症の方とのやり取りを想定したロールプレイを行うことで実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・衣生活の科学と文化の節で、複数の実験・実習の項目が設けられており、特に、実際の洗濯を行う実習など、布の性質、汚れの種類、洗濯機の特徴などの理解を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。 ・食生活の科学と文化の節で、複数の実験・実習の項目が設けられており、特に、水と油の乳化実験など、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品についての科学的な理解を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、将来に向けてどのように資産形成するか考えるワークが設けられている。海外の家計の金融資産を比較し、金融資産の特徴の理解を通して将来の資産形成について考えられる実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDSサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われる方法を具体的に示すことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・ 衣食住の生活の科学と文化 「食文化を継承しよう」 「日本の伝統的な衣服」 「日本の古い住まいの知恵を受け継ごう」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・ 人の一生と家族・家庭及び福祉 「多様な性のあり方を理解・尊重し合おう」 「子どもの権利と福祉」 「共生社会実現のために」
安全・防災や自然災害の扱い	・ 衣食住の生活の科学と文化 「災害への備え」 「地震などの災害に備えよう」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・ 人の一生と家族・家庭及び福祉 「性別役割分業意識の変化と現状」 「さまざまな価値観の尊重」
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・ 動画やワークシート、情報サイトへのリンクなど、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ 色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	実教
教科書番号	家総007-901◆
教科書名	新家庭総合

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・ 子供の関わりと保育・福祉の節で、ロールプレイングで保育者の声掛けについて考えるワークが設けられており、特に、子供の発達についての理解や傾聴・共感の実践を通して今後の生活や地域の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・ 住生活の科学と文化の節で、学習環境を整えるワークが設けられており、特に、学習に適した照明や家具、レイアウトについての課題把握を通して、現在や将来の住まいを住みやすく改善する力が養われるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・ 消費行動と意思決定の節で、身近な商品の購入についてのワークが設けられており、特に、生産地、費用、環境への配慮についての比較・検討を通して主体的な意思決定や、情報を正しく見極める力が養われるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げている。具体的に示された学習の進め方の解説や実践例の内容の資料を通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。

b 実践的・体験的な学習活動

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・ 高齢者の関わりと福祉の節で、日常生活の介助を体験するワークが設けられており、ボディメカニクスの原理を理解し、食事や移動の介助を行うことで実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・ 食生活の科学と文化の節で、理科の学習と食生活を関連付けた実験が設けられており、特に、たんぱく質の変性や化学変化、食品の酸化について理解を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・ 持続可能な消費生活・環境の節で、持続可能な社会の構築するためにできることを考えるワークが設けられている。具体的な課題解決策を考えることで、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて実践的・体験的に学べるような構成になっている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・衣食住の生活の科学と文化 「日本の食文化の形成」 「衣文化の伝承」 「住まいの文化」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「性と人権～Noといえますか？」 「親子関係の課題」
安全・防災や自然災害の扱い	・衣食住の生活の科学と文化 「安全な住まい」 「防災・減災に取り組む」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「固定的な性別役割分業をこえて」
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・動画やワークシート、情報サイトへのリンクなど、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	開隆堂
教科書番号	家総009-901
教科書名	家庭総合 明日の生活を築く

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・子供との関わりと保育・福祉の節で、社会の課題と改善点を考察するワークが設けられている。特に、夫婦の家事育児関連時間におけるデータ分析と課題把握を通して、子供の健やかな発達のために、親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察できるような構成になっている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・衣生活の科学と文化の節で、被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付ける項目が設けられており、特に、被服の入手、洗濯、保管、適切な着用など、衣生活の全体的な管理法について理解できるような構成になっている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに、生活情報の収集・整理が適切にできるようになるための項目が設けられている。特に、環境に配慮した製品の購入や省資源・省エネ行動を取り上げ、消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解を深めることができるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、ホームプロジェクトの実践例を取り上げている。解決の見通しが立ちやすいテーマと立ちにくいテーマの比較を通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。

b 実践的・体験的な学習活動

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・子供との関わりと保育・福祉の節で、乳幼児との触れ合いの項目が設けられており、特に、幼稚園、保育所等を訪問して子供との交流を行ったり、子育て中の親と子供を学校に招いたりして、親子の観察やインタビューを行うなど、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・住生活の科学と文化の節で、間取りを読み取り選択する項目が設けられており、住宅の間取り図等を理解するための技能を身に付け、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、生活設計を行うワークが設定されており、ライフステージごとの生活リスクに対する備えや出産・教育・介護の費用についての検討や話し合いを通して、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて実践的・体験的に学べるような構成になっている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・衣食住の生活の科学と文化 「日本と世界の食文化」 「日本の衣文化」 「日本の住まいのうつり変わり」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「働き方・ジェンダーと賃金」 「工業社会を支える性別役割分業意識」 「家族の問題には家族以外の力を借りる」 「ダイバーシティ・インクルーシブな社会」 「考えてみよう 子ども虐待」
安全・防災や自然災害の扱い	・住生活の科学と文化 「ハザードマップを活用しよう」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「誰もが自分らしく生きられる社会に」
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・シミュレーションや動画など、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	大修館
教科書番号	家総050-901
教科書名	Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう 改訂版

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・生涯の生活設計の節で、意思決定についての項目が設けられており、特に、意思決定の重要性について理解を深めることを通して、様々な生活課題に対応して適切に意思決定し、責任をもって行動することが重要であることを認識できるような構成になっている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・食生活の科学と文化の節で、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、栄養と嗜好、費用、調理の効率、環境、安全などに配慮した食生活の計画・管理ができるような構成となっている。
【持続可能な消費生活・環境】	・生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境の節の章末において、生活上の新たな課題を発見し解決するワークが設けられている。章ごとに内容を振り返り生活を見直すことによって課題解決型の学習に結び付けられるような構成になっている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、家庭科の知識や技能を活用してホームプロジェクトを実施することを説明し、学習の見通しが立てられる項目が設けられており、自己の家庭生活の中から課題を見だし、課題解決を目指して主体的に計画を立てて、問題解決的な学習活動を実践できる構成となっている。

b 実践的・体験的な学習活動

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・高齢者との関わりと福祉の節で、高齢者を取り巻く社会の課題について考えることができる項目が設けられており、家族・地域・社会とそれぞれの役割について具体的な事例を通して考察できるような実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・衣生活の科学と文化の節で、被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける項目が設けられており、環境と人体の双方の条件に適合した被服材料やサイズ、デザイン等の選択ができるようにするとともに、保有する被服の有効な活用や補修、生活者として自立する上で必要な技能を身に付けることができるような実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境の節の章末において、生活上の新たな課題を発見し解決するワークが設けられている。章ごとに内容を振り返り生活を見直すことによって実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げ、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・衣食住の生活の科学と文化 「日本の食文化”WASYOKU”」 「生活文化を継ぐ・つくる 食生活」 「日本と世界の衣文化」 「生活文化を継ぐ・つくる 食生活」 「日本の住文化を知ろう」 「生活文化を継ぐ・つくる 住生活」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「性の多様性」 「家族に今、起こっている問題」 「子どもの人権は守られているか？」 「「多様性」を合いことばに」
安全・防災や自然災害の扱い	・衣食住の生活の自立と設計 「安全に安心して暮らす」 「災害への備えと心がまえ」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「性別役割分業を見直す」
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・家計管理シミュレーションなど、デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう、二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	第一
教科書番号	家総183-901
教科書名	高等学校 改訂版 家庭総合 持続可能な未来をつくる

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、社会環境の変化や課題についての問いが設けられており、現代の家族・家庭の特徴や機能は、経済や産業構造、制度など社会の影響を大きく受けていることについて理解できるような構成になっている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・衣生活の科学と文化の節で、衣生活を取り巻く課題についての項目が設けられており、特に、自分の衣生活と世界のつながりを考え、他者との意見交換を通して、生活の課題を解決する力が身に付くような構成になっている。
【持続可能な消費生活・環境】	・消費行動と意思決定の節で、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深め、悪質商法や多重債務、インターネットを通じた消費者被害などについて、具体的な予防法について考えられるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、各分野において自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する項目が設けられており、家庭科の知識や技能を活用できるような構成になっている。

b 実践的・体験的な学習活動

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・生涯の生活設計の節で、アンコンシャス・バイアスの項目が設けられており、自立した生活を営むために、生涯を見通しながら責任をもって行動することを、実践的・体験的に学習できるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・食生活の科学と文化の節で、栄養素についての実験の項目が設けられており、特に、調理の実験・実習を通して関連する知識と技能を身に付けることを通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・衣生活の科学と文化の節で、リメイクの実習の項目が設けられており、持続可能な社会の構築などの視点から、よりよい衣生活の創造について考え、工夫することを通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・章末ごとの「ホームプロジェクト」を通して、家庭科で学んだことを自分の生活に照らして実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・衣食住の生活の科学と文化 「食生活の文化」 「食文化を通じて外国の人と交流しよう」 「衣文化の継承と創造」 「住文化の継承と創造」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「多様な家族を支える」
安全・防災や自然災害の扱い	・共生社会と福祉 「ともに暮らす地域、ともに生きる社会～共生社会を描こう～」 ・衣食住の生活の自立と設計 「自然災害と住まい」 「減災・防災ハンドブック」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「スポーツ選手のユニフォームの変化」
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「いろいろな働き方」 「ワークライフ・バランス」 「私たちにひそむ『アンコンシャス・バイアス』に気づこう」
(2) 構成上の工夫	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「性の多様性」 「家族に今、起こっている問題」 「子どもの人権は守られているか？」 「「多様性」を合いことばに」
デジタルコンテンツの扱い	・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。

教科名	家庭
科目名	家庭総合

発行者（略称）	第一
教科書番号	家総706
教科書名	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる

(1) 内容

a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・ 青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、人生100年を1日にたとえて協議するワークが設けられており、自己の時間の使い方について他者と意見交換することにより、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・ 食生活の科学と文化の節で、食料自給率を高めるための取組を考え、協議するワークが設けられており、具体的な検討を通して食生活の現状を様々な角度から考察できるような構成になっている。
【持続可能な消費生活・環境】	・ 消費行動と意思決定の節で、生活設計でプランニングした個別の人生構想に基づき、必要な費用を検討し協議するワークが設けられており、教育費や年金等、資料に基づいた考察を行い他者との意見交換で考えを深めることにより、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、全国大会で受賞した実践例が紹介されており、題目設定、実施計画、実施状況、評価と今後の課題といった具体的なまとめ方を学ぶことで、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるよう構成になっている。

b 実践的・体験的な学習活動

【人の一生と家族・家庭及び福祉】	・ 子供との関わりと保育・福祉の節で、子供との関わり方を学ぶ題材が設定されており、特に、触れ合い体験の具体的な準備・実施時の留意点・体験後のまとめ方を示すことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【衣食住の生活の科学と文化】	・ 住生活の科学と文化の節で、一人暮らしをする際の希望を検討し、意見交換するワークが設けられており、自己の関心を深めながら適切な住環境を選択することを通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【持続可能な消費生活・環境】	・ 消費行動と意思決定の節で、悪質商法のロールプレイングが設けられており、悪質商法の販売方法・手口を踏まえ、被害を防ぐための手立ての検討や意見交換で考えを深めることを通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。
【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】	・ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、各章末に「ホームプロジェクト」項目が設けられており、テーマ探しに役立てホームプロジェクトに取り組むことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・衣食住の生活の自立と設計 「食文化を通じて外国の人と交流しよう」 「衣文化の継承と創造」 「和室のよさを外国の人に紹介しよう」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・人の一生と家族及び福祉 「多様な家族を支える」 「子どもと人権」 「人の多様性と社会参加」
安全・防災や自然災害の扱い	・衣食住の生活の自立と設計 「自然災害と住まい」 「減災・防災ハンドブック」 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 「災害食づくりに挑戦しよう」 「菊池家 災害対策本部～四姉弟で災害を切り抜けろ！」
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・人の一生と家族・家庭及び福祉 「働くこととジェンダー」
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。